



広島県公立大学法人

叡啓大学
EIKEI UNIVERSITY OF HIROSHIMA

Creating Shared Futures 未来をつくる仲間と出会う

2025年8月9日(土)
広島県PTA連合会
令和7年度国公立大学進学説明会
大学紹介

広島県公立大学法人 叡啓大学
ソーシャルシステムデザイン学部



大学の特色・教育方針等について

叡啓大学の概要

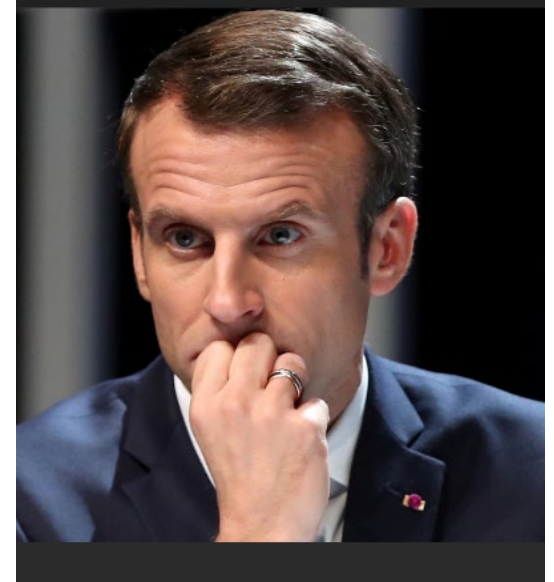
広島県公立大学法人 叡啓大学
学長・教授 有信 睦弘

益々混沌化する国際社会と日本の未来



広島県公立大学法人

恵啓大学
EIKEI UNIVERSITY OF HIROSHIMA





経済の主役も変わる！

amazon

Google



Microsoft



無形資産が経済を支配する!!

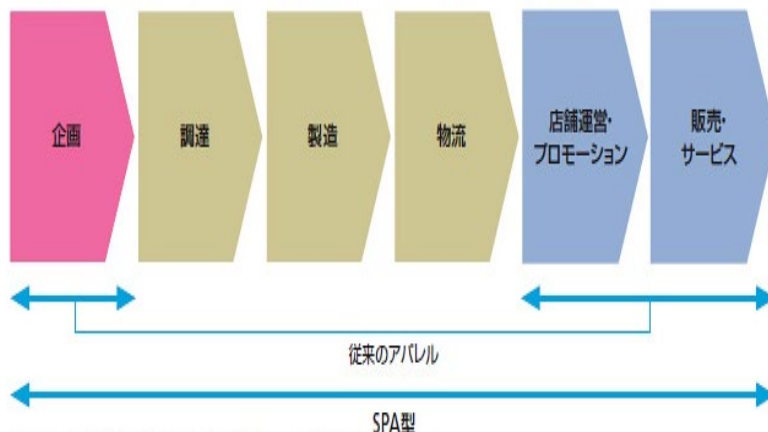
知的資産: 特許、商標、著作権、ノウハウなど

人的資産: 資格、スキル、知識、人脈、フォロワー数など

インフラストラクチャ資産: 企業文化、経営管理プロセスなど

のれん: 買収した企業のブランド認知度や顧客リストなど

自社ブランド商品の企画から販売までを一貫して自社で行うビジネスモデル(特にユニクロ、GAPなど)



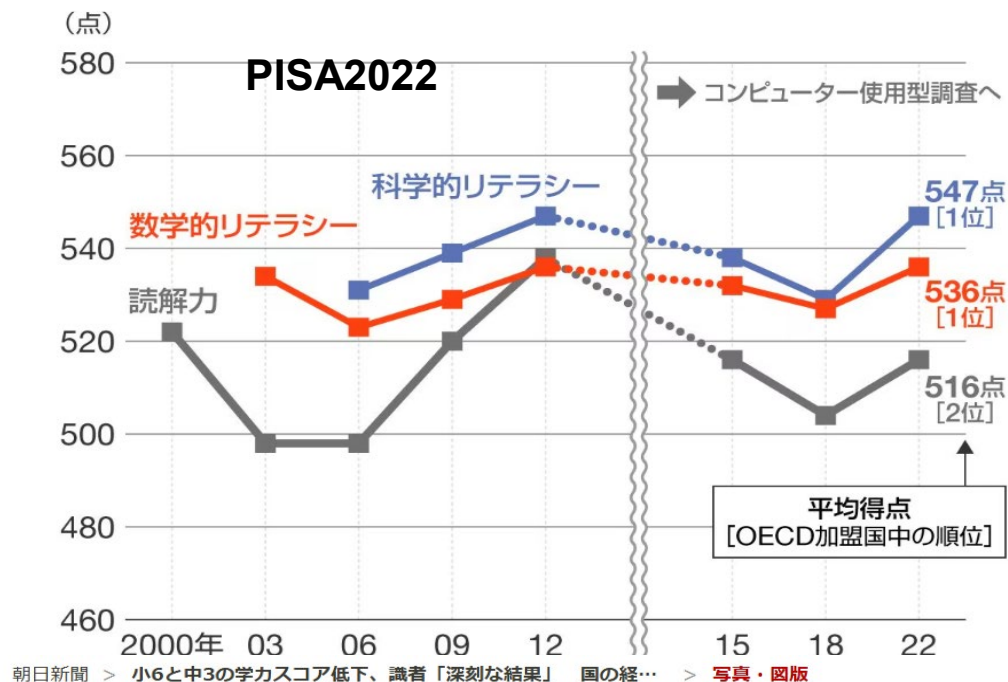
出典: 「カルル教授と学ぶ成功企業31社のビジネスモデル入門」(Discover21)

仕掛けかんばん **A** の流れ





義務教育修了段階では日本の子供達のポテンシャルは高い!?

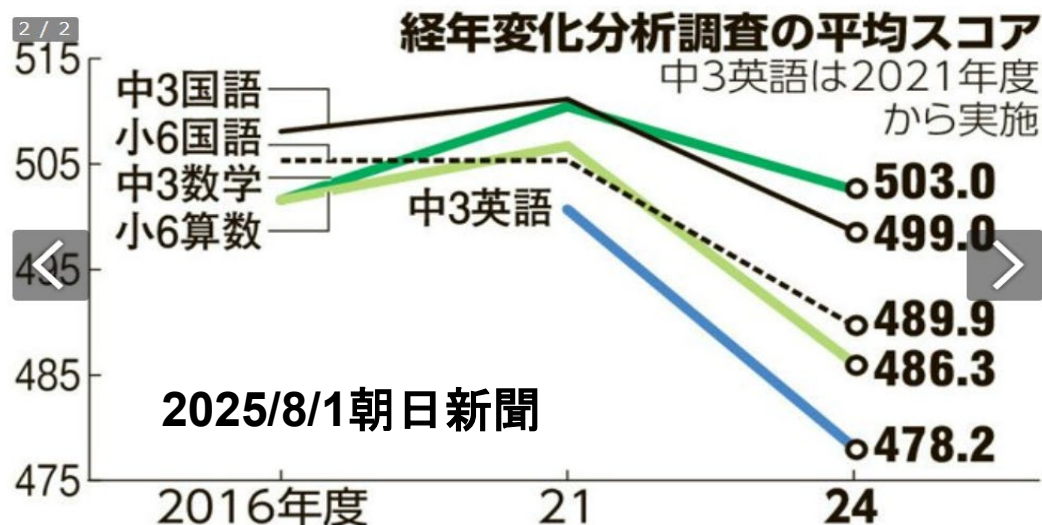


- ・ 高校まで：優秀＝偏差値が高い
- ・ 大学では：優秀＝成績優秀
- ・ 社会では：優秀＝Competencyが高い



偏差値～大学での成績～Competency?

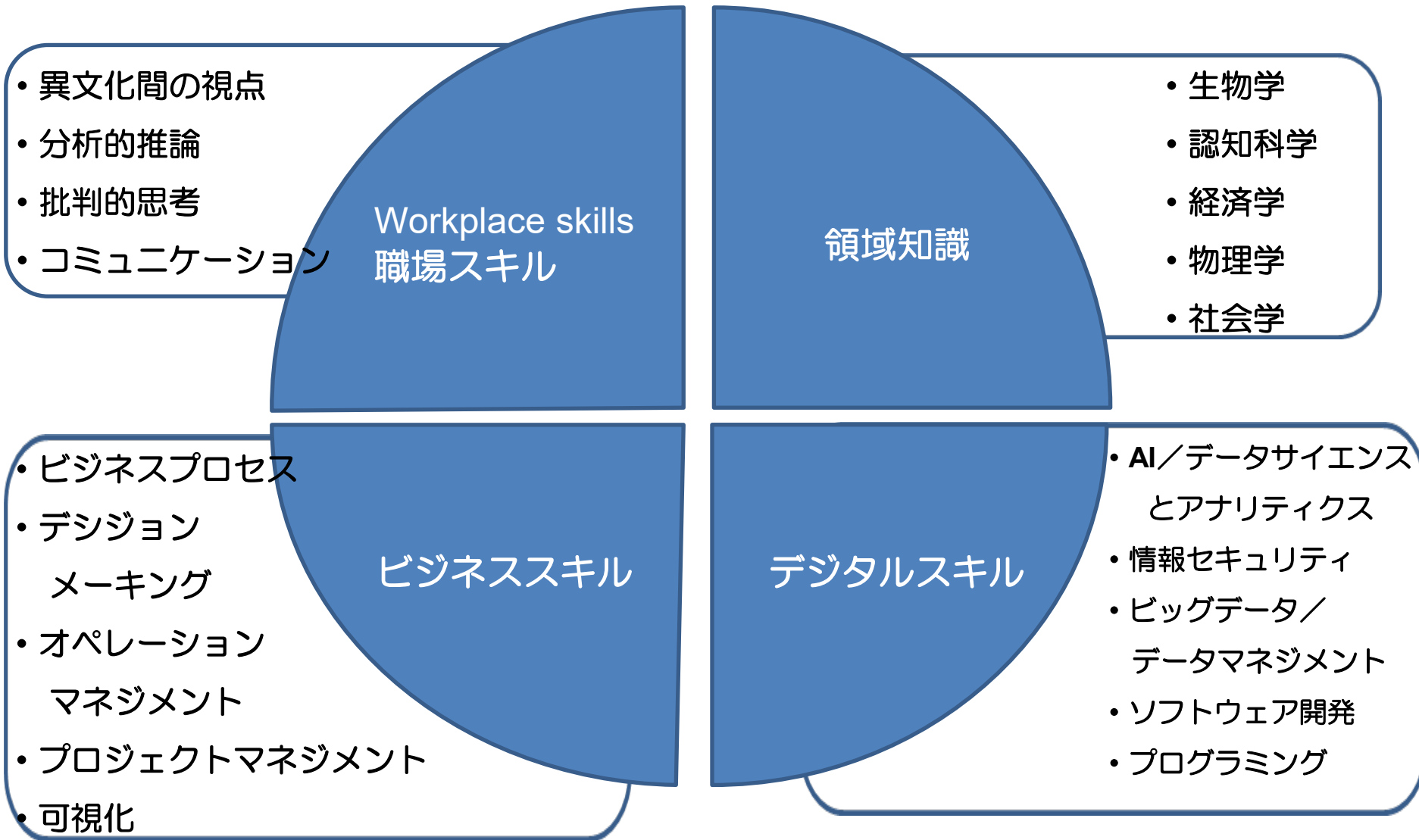
あまり相関がない?



Competencyが重要!!



求められているのはスキル？





叡啓大学 (えいけいだいがく)

EIKEI UNIVERSITY OF HIROSHIMA

学部名	ソーシャルシステムデザイン学部 Department of Social System Design
学科名	ソーシャルシステムデザイン学科 Social System Design Course
所在地	広島市中区幟町1-5（広島駅から徒歩10分程度）
定員	入学定員：100人（収容定員：400人）
学長	有信 睦弘
副学長／ 学部長	石川 雅紀



ソーシャルシステムデザインの理念

自らが将来のありうべき社会像を創ること

⇒社会の様々な仕組みを理解した上で、自ら課題を発見、解決策を導き出し、新たな価値の創出を通じて、社会をより良く変容させることのできる人材を育成

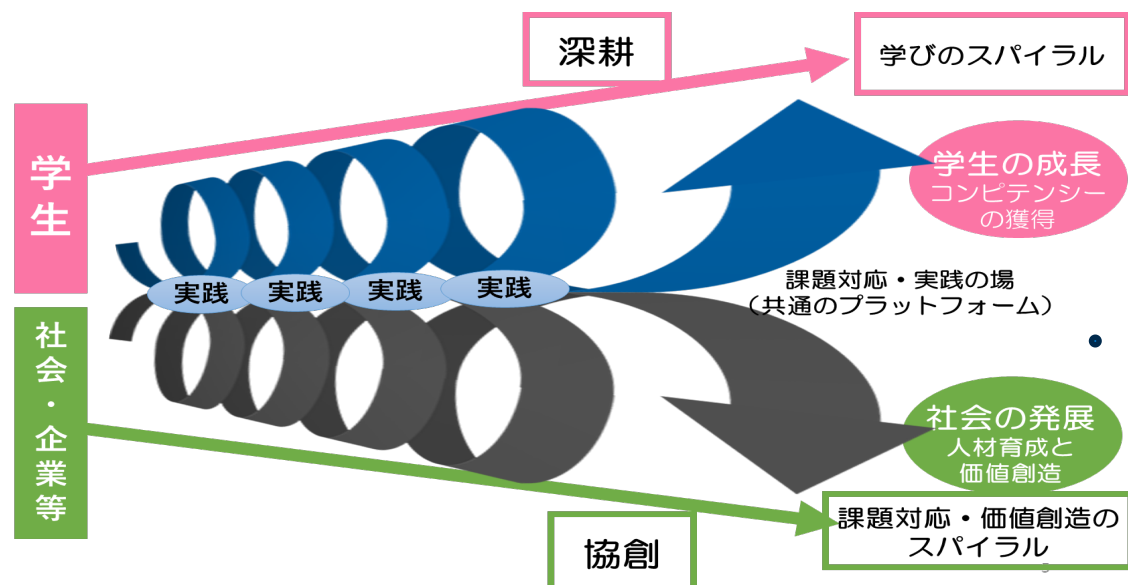
この理念を実現していくためには…

「**先見性**」を持って本質的な課題を発見し、「**戦略性**」をもって解決策を立案した上で、自らリーダーとしてやり抜く「**実行力**」が求められる。また、このプロセスを進めるには、高い志を持ち学び続ける「**自己研鑽力**」と、多様性を尊重し協働する「**グローバル・コラボレーション力**」が必要となる。

社会的価値の創出によるSDGs到達



SDGsの到達



社会的価値の創出



アドミッション・ポリシー

叡啓大学は、先行き不透明な社会経済情勢の中で、地域社会や世界に貢献する高い志を持ち、解のない課題に果敢にチャレンジし、粘り強く新しい時代を切り開いていく人材の育成を目指します。そのために、次のような資質・能力・意欲を持った学生を広く国内外から受け入れます。

求める学生像

国内外の様々な文化、歴史、社会や国際関係に強い関心と探究心があり、他者と積極的にコミュニケーションを行いながら学ぶ意欲がある者

将来を見据え、目的意識を持って学修に取り組み、自らの能力の向上を目指す者

高校までの学習で基本的な学力を身に付け、幅広い視野を持って自ら先頭に立ち、他者を巻き込んで様々な課題に取り組み、社会に貢献しようと考えている者



カリキュラムの全体構成 (カリキュラム・ポリシーから)

修得	リベラルアーツ科目		SDGsを意識した上で、人・社会・自然に関する幅広い専門分野の知識を学際的に学修 ⇒ウィンドウの設定
	基本ツール科目	ICT・データサイエンス	実社会における課題に対し、統合的な解決策を戦略的に立案するために必要となる基本的なスキルを養う
		思考系	
	実践英語		英語で授業を履修できるレベルの実践的な英語力の修得を目標として、1年次の上半期に「英語集中プログラム」を実施する
実践	体験・実践プログラム		企業や国際機関等と提携し、海外を含む複数回のプログラム（留学、インターンシップ、ボランティア活動等）に取り組む
	課題解決演習科目	課題解決演習（PBL）	企業等の多様な主体と連携し、実践的な課題発見・解決演習に取り組む
		卒業プロジェクト	学生自らが課題を設定し、解決策を立案する卒業プロジェクトに取り組む



卒業認定・学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)

下記コンピテンシー（資質・能力）を身に付けたと認められるものに学位を授与

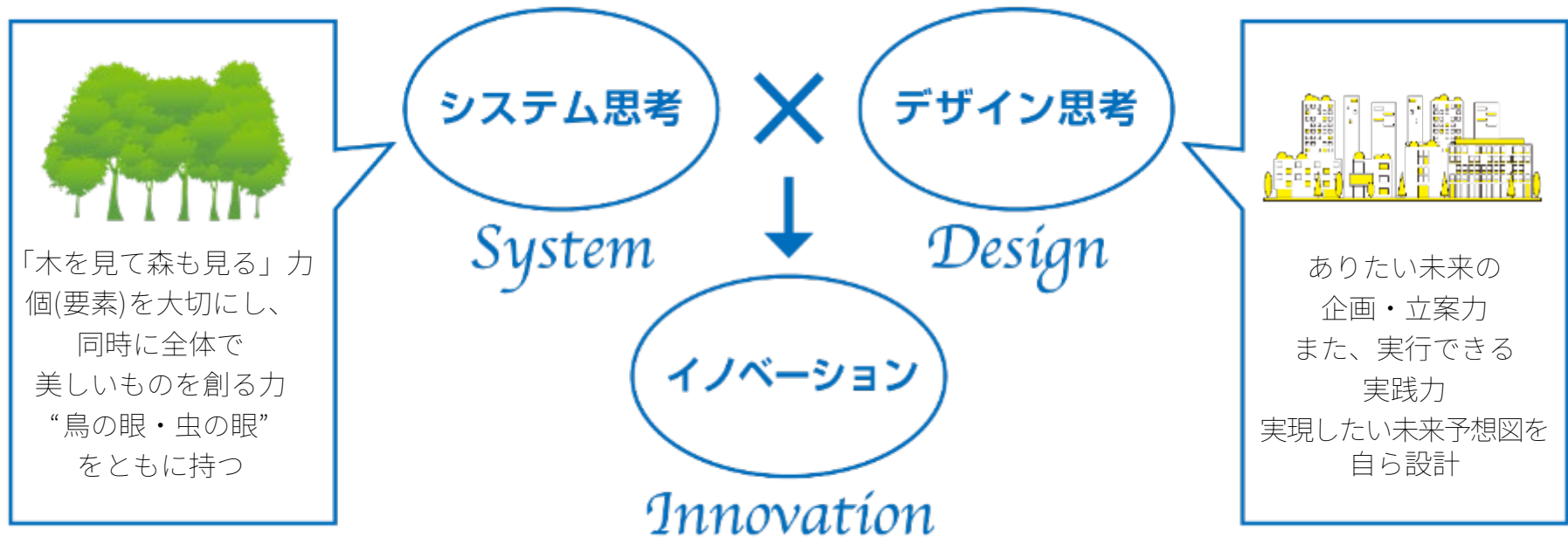
グローバル・ コラボレーション 力	個人や社会の多様性を尊重し、外国語能力やコミュニケーション力を駆使して、異なる文化・価値観等を有する他者とも相互に信頼関係を構築し、協働する力
先見性	幅広い教養を基盤とする複眼的・多角的な視野を養い、グローバルな視点から将来を見通し、概念的思考力などを用いて、社会の変化がもたらす本質的な課題を発見する力
戦略性	デジタルリテラシーを基盤に、探究心を持って新しい情報や知識の収集・調査・分析を行い、論理的思考力などを用いて、統合的な解決策を戦略的に立案する力
実行力	リーダーシップを持って何事にも主体的・積極的にチャレンジし、困難に直面してもあきらめずに最後までやり抜くことを通じて、物事を実行する力
自己 研鑽力	高い志と倫理観を持ち、生涯にわたって学び続ける姿勢を 通じて、自己を高める力

特色ある学部・学科での教育内容
入学者選抜、卒業後の進路等について

叡啓大学の特徴

広島県公立大学法人 叡啓大学
学部長・教授 石川 雅紀

ソーシャルシステムデザインとは
社会で問いを設定し、解答を自ら探求するための方法論



複雑な社会課題を解決し、新しい価値を創る



5つのコンピテンシー

社会で新たな価値を創り出すために

必要な5つのコンピテンシー（資質・能力）を身につけた、
未来を描き、つくりことができる人材となる。



グローバル・
コラボレーション力
仲間と未来をつくる

多様性にもとづくグローバル市民参加

市民参加とは、社会をより良くする活動に参加し、その活動を可能にする知識やスキルや価値観を養うことです。グローバル化した現代社会では、国家をベースとした「国際」的な連携に留まらない、グローバルで包括的な市民の連帯が求められています。国籍や出身や言語、ジェンダーやセクシュアリティ、身体を含めた、さまざまな多様性を尊重し協働するグローバル市民としての素養を育成します。

先見性
問題を発見する

クリティカルな洞察にもとづく問題発見

クリティカルであるということは、物事を多角的・総合的に調べたうえで、自らの考えを形成することです。リベラルアーツ科目を中心とした教養教育で洞察力を養い、問いや課題を発見し、探究する力を育成します。

戦略性
調査・分析・設計する

調査分析にもとづく問題解決

問題解決とは、俯瞰的な視点から、オープンエンドな問いに取り組んだり、目標を達成したりするための方法をデザインし、試行し、評価するプロセスのことです。調査分析にもとづいて、不確実な状況や予期せぬ事態にも対応できるように、柔軟に計画を立てる力を育成します。

実行力
粘り強くやり抜く

相互的自律にもとづく努力

問題解決のためのプロジェクトを実行するには、関係者全員の主体性を尊重し、相互の貢献を促進する粘り強い努力が必要です。チームメンバーが建設的に関わることができるような場をつくり、効果的にコミュニケーションとりつつ相互の自律性を保ち、困難にも柔軟に対応しながら計画を遂行する力を育成します。

自己研鑽力
学び続ける

好奇心と振り返りにもとづく探究

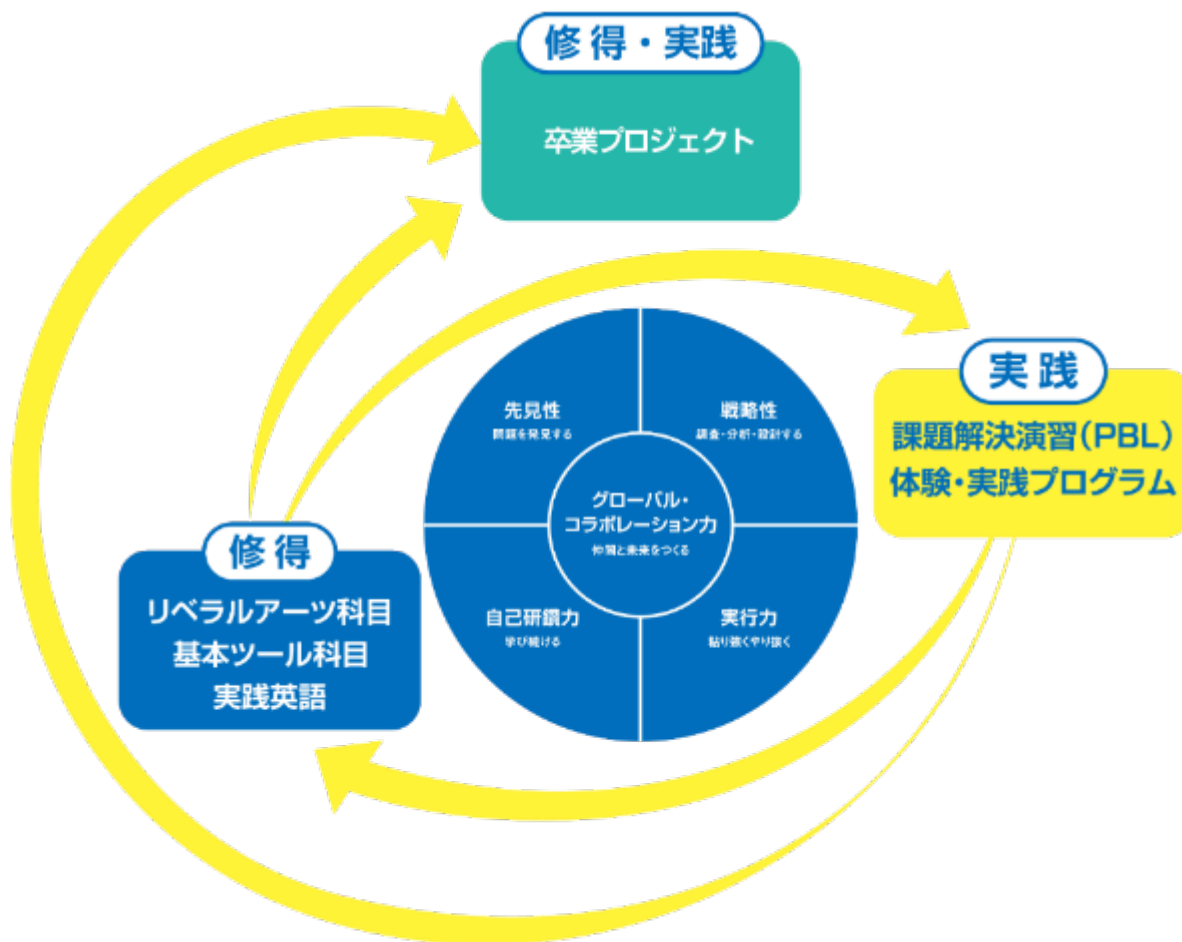
探究とは、知識やスキルや能力を向上させるための、教育制度の枠組みに留まらない継続的な学びのことです。探究するには、好奇心をもち、これまでの学びを振り返るとともに、別の状況に接続し、応用し、展開すること、すなわち転移する能力が必要です。大学での学びを次世代や他領域に拡張していく能力を育成します。

修得と実践のサイクル I



広島県公立大学法人

叡啓大学
EIKEI UNIVERSITY OF HIROSHIMA



修得と実践のサイクルII



広島県立大学法人

叡啓大学
EIKEI UNIVERSITY OF HIROSHIMA

修得

- ・国内外の社会における現代的課題（SDGs含む）を理解するためのリベラルアーツ科目
- ・基本ツール科目（デジタルスキル、システム思考、デザイン思考）
- ・実践英語

修得・実践

卒業プロジェクト

実践

- ・実社会のリアルな課題に挑む課題解決演習（PBL）
- ・体験・実践プログラム



4年間のカリキュラム体系

1年を4学期に分離するクォーター制を導入。
自らの履修計画に応じて海外留学やインターン
シップ、ボランティアに取り組みやすくなっています。

		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
実践	課題解決演習(PBL)	●課題解決入門		2年次(1学期前半) ●課題解決演習Ⅱ		2年次(2学期後半) 卒業論文(1期) ●課題解決演習Ⅲ		●課題解決演習Ⅳ	
	体験・実践プログラム			2年次(1学期後半) ●国内インターンシップ ●海外インターンシップ ●海外研修プログラム		2年次(2学期前半) 卒業論文(2期) ●国内インターンシップ ●海外インターンシップ ●海外研修プログラム			
基本ツール科目	ICT・データサイエンス	2年次(1学期前半) 基礎的なICTスキルを習得する ●ICT入門 ●データサイエンス基礎A ●プログラミング入門		2年次(2学期後半) 応用的ICTスキルを習得する ●ウェブプログラミングとアプリ開発 ●IoT利用による問題解決 ●データ分析と統計モデリング ●データサイエンス実証 ●AIビジネス応用		3年次(1学期前半) 高度なICTスキルを習得する ●ウェブプログラミングとアプリ開発 ●IoT利用による問題解決 ●データ分析と統計モデリング ●データサイエンス実証 ●AIビジネス応用			
	思考系	2年次(1学期後半) 基礎的な思考スキルを習得する ●ロジカルシンキング ●デザイン思考・システム思考		2年次(2学期後半) 応用的思考スキルを習得する ●プロジェクトマネジメント ●日本経済のグローバル化		3年次(1学期後半) 高度な思考スキルを習得する ●プロジェクトマネジメント ●日本経済のグローバル化			
リベラルアーツ科目		2年次(1学期前半) 基礎的なリベラルアーツスキルを習得する ●基礎的なリベラルアーツ科目		2年次(2学期後半) 応用的リベラルアーツスキルを習得する ●応用的リベラルアーツ科目		3年次(1学期後半) 高度なリベラルアーツスキルを習得する ●高度なリベラルアーツ科目		3年次(2学期前半) 卒業論文(1期)	
修得	People 人間	2年次(1学期前半) 基礎的な人間性スキルを習得する ●基礎的な人間性科目		2年次(2学期後半) 応用的人間性スキルを習得する ●応用的人間性科目		3年次(1学期後半) 高度な人間性スキルを習得する ●高度な人間性科目		3年次(2学期前半) 卒業論文(1期)	
	Prosperity 豊かさ	2年次(1学期後半) 基礎的な豊かさスキルを習得する ●基礎的な豊かさ科目		2年次(2学期前半) 応用的豊かさスキルを習得する ●応用的豊かさ科目		3年次(1学期前半) 高度な豊かさスキルを習得する ●高度な豊かさ科目		3年次(2学期前半) 卒業論文(1期)	
卒業プロジェクト	卒業論文	2年次(1学期後半) 基礎的な卒業論文スキルを習得する ●基礎的な卒業論文科目		2年次(2学期前半) 応用的卒業論文スキルを習得する ●応用的卒業論文科目		3年次(1学期前半) 高度な卒業論文スキルを習得する ●高度な卒業論文科目		3年次(2学期前半) 卒業論文(1期)	
	卒業論文	2年次(1学期後半) 基礎的な卒業論文スキルを習得する ●基礎的な卒業論文科目		2年次(2学期前半) 応用的卒業論文スキルを習得する ●応用的卒業論文科目		3年次(1学期前半) 高度な卒業論文スキルを習得する ●高度な卒業論文科目		3年次(2学期前半) 卒業論文(1期)	
実践英語		2年次(1学期前半) 基礎的な実践英語スキルを習得する ●基礎的な実践英語科目		2年次(2学期前半) 応用的実践英語スキルを習得する ●応用的実践英語科目		3年次(1学期前半) 高度な実践英語スキルを習得する ●高度な実践英語科目		3年次(2学期前半) 卒業論文(1期)	
日本語 (主に留学生・初心者向け)		●日本語Ⅰ		●日本語Ⅱ		●日本語Ⅲ		●日本語Ⅳ	



求める学生像（アドミッションポリシー）

- 国内外の様々な文化、歴史、社会や国際関係に強い関心と探究心があり、他者と積極的にコミュニケーションを行いながら学ぶ意欲がある者
- 将来を見据え、目的意識を持って学修に取り組み、自らの能力の向上を目指す者
- 高校までの学習で基本的な学力を身に付け、幅広い視野を持って自ら先頭に立ち他者を巻き込んで様々な課題に取り組み、社会に貢献しようと考えている者

入学者定員：100名 / 1学年

入学時期	選抜区分		募集人員
春入学(4月入学)	総合型選抜	専願枠	20名
		併願枠(※1)	30名
	学校推薦型選抜		15名
	一般選抜		15名
秋入学(9月入学)	留学生選抜 (※2)		20名

総合型選抜に重点

第1次選考

活動報告書や調査書等による
書類選考

第2次選考

グループディスカッションや面接
による選抜

高等学校等までの教育課程で
習得した知識・技能と併せて、
コミュニケーションや探究活動、
学びや課外活動に対する姿勢
などを多面的・総合的に評価

(※1) 留学生選抜（春入学）を含む。

(※2) 総合型選抜（秋入学）を含む。

2026年度入試の変更点

入学時期	選抜区分	募集人員	英語力の 出願要件
春入学 (4月入学)	総合型選抜(専願枠)	20名	CEFR B1 相当以上
	総合型選抜・留学生選抜 (併願枠)	30名	
	学校推薦型選抜	15名	
	一般選抜	15名	
秋入学 (9月入学)	留学生選抜・総合型選抜	20名	CEFR B2 相当以上

総合型選抜(専願枠) 新設
叡啓大学への進学を強く希望する方を対象として新たに設定。

叡啓大学での学びにつながる、
 高等学校までの学びや活動等を行ってきた方を広く受け入れます。

【例えば・・・】

高等学校までの次のような活動に、意欲的に取り組んだ経験

- ・ 学習や課外活動
- ・ 各種コンクール
- ・ 地域での活動
- ・ 探究学習
- ・ プロジェクト学習
- ・ 留学等の海外での経験
- ・ 国際バカロレア課程での学び
- ・ 英語や他の言語の習得

受験生のみなさんが、これまでに力を入れてきたことを、総合的に評価します。

募集人員の変更

総合型選抜(併願可能枠) **50名→30名** に変更。

学校推薦型選抜 **20名→15名** に変更。

一般選抜 **10名→15名** に変更。

留学生選抜(秋入学)は変更なし。



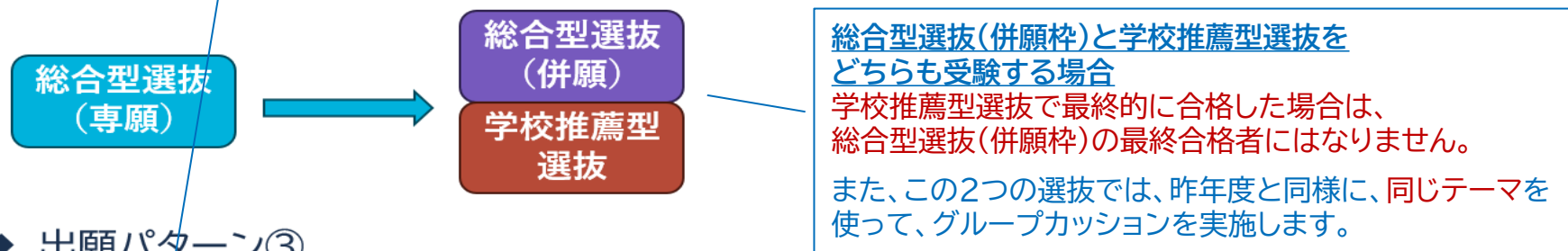
複数の選抜に出願(併願)できます！

9月	10月	11月	12月	1月
----	-----	-----	-----	----

◆ 出願パターン①



◆ 出願パターン② 広島県内の高等学校等卒業見込み者



◆ 出願パターン③



出願要件や日程により、上記以外のパターンでも出願が可能です。

総合型選抜(専願枠)を受験した場合

第2次選考を受験して、合格とならなかった方が、
総合型選抜(併願枠)または学校推薦型選抜を受験する場合、
その選抜の第1次選考(書類審査)は免除となり、
第2次選考を受験することができます。(一般選抜は対象外)





2026(令和8)年度入学者選抜の概要

			主な提出書類						選抜方法	出願期間	第一次 選考結果 通知日	第二次 選考 実施日	合格 発表
			志望理由書	活動報告書	成績証明書 または 調査書	小論文	推薦書	履歴書					
春入学	総合型選抜 (専願枠) 【20名】		○	○	○	-			【第一次選考】 原則実施しない ※志願倍率が2.0倍以上で、 実施する場合あり。 【第二次選考】 面接 グループディスカッション	R7.9.1 (月) ～9.8 (月)	R7.9.26 (金) ※実施の場合	R7.10.18 (土)	R7.11.1 (土)
	総合型選抜 (併願枠)／ 留学生選抜 (春入学) 【30名】		○	○	○	○	留 ○		【第一次選考】 書類選考 【第二次選考】 面接 グループディスカッション	R7.10.27 (月) ～11.4 (火)	R7.11.21 (金) ※学校推薦は 実施の場合	R7.12.1 (月) ～12.2(火)の いずれか1日	R7.12.19 (金)
	学校推薦型選抜 【15名】 ※広島県内のみ		○		○		○		【第一次選考】 原則実施しない ※志願倍率が2.0倍以上で、 実施する場合あり。 【第二次選考(対面)】 面接 グループディスカッション	R7.11.1 (土) ～11.6 (木)		R7.12.4 (木)	
	一般選抜 【15名】		○		○				【第一次選考】 書類選考 大学入学共通テスト 【第二次選考】 面接	R8.1.26 (月) ～2.2 (月)	R8.2.20 (金)	R8.3.3 (火)	R8.3.13 (金)
秋入学	留学生選抜 総合型選抜 【20名】	第1回	○	○	○	○	○	○	【第一次選考】 書類選考 【第二次選考】 面接	R7.10.27 (月) ～11.4 (火)	R7.11.21 (金)	R7.12.1 (月) ～12.2(火)の いずれか1日	R7.12.19 (金)
		第2回								R8.1.20 (火) ～1.30 (金)	R8.2.20 (金)	R8.3.3 (火)	R8.3.13 (金)



授業とキャリア教育の一体化

叡啓大学は授業とキャリア教育がシームレスであることが特長です。



本質的な課題を見出す学び

叡啓大学の学生は、実社会の課題を扱うPBLや企業連携プロジェクトを通じて、本質的な課題を見出し、解決に向けた知識とスキルを身につけています。こうした力は、社会や企業の中で自ら学び、考え、行動する姿勢として高く評価されています。



アントレプレナーシップ育成

起業を目指す学生は、在学中から具体的なビジネスモデルを構築し、卒業時にはすぐに新規ビジネスを立ち上げられる実践力を身につけています。アントレプレナーシップを育む環境が整っています。



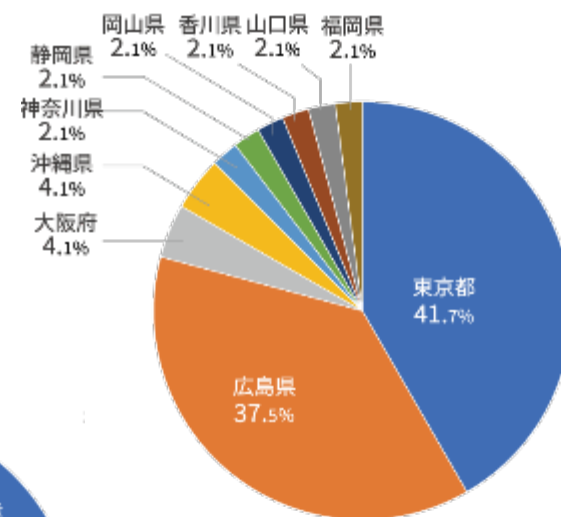
授業とキャリア教育の一体化がもたらす効果

- ✔ 実務に直結した実践的スキルの習得
- ✔ 学びの目的意識が明確になる
- ✔ 企業や社会が求める能力の早期習得
- ✔ 自分の将来と学びの関連性を常に意識

修得と実践の「学びのスパイラル」を
反映した多様な進路が実現！

100%

■ 業種別内訳





第1期生：進路の特徴

叡啓大学の第1期生は、修得と実践の学びのスパイラルを反映した多様な進路を選択しています。特に新規・成長分野が見込める企業や、地域に根差した企業などで活躍しています。



スタートアップ・ベンチャー企業

新規事業

IT・テック

イノベーションに積極的なスタートアップ企業で、新規事業開発やデジタルマーケティングなどを担当。学生時代の実践的なプロジェクト経験が評価されています。



地元大手企業

地域貢献

基幹産業

地域経済を支える企業や公共機関に就職。
地域の課題を身近に感じながら解決に取り組んでいます。

就職先：広島銀行・中国新聞社・広島電鉄・サタケなど



起業・家業承継

起業家精神

事業創造

在学中に起業した学生や、家業を革新的に継承する卒業生も。叡啓大学での学びを活かし、新たな視点で事業を展開しています。



外資系・グローバル企業



情報・通信・デジタル分野



広島県公立大学法人

叡啓大学

EIKEI UNIVERSITY OF HIROSHIMA

ご清聴ありがとうございました